

村上市  
1人1台端末の利活用に係る計画

令和7年3月1日

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

「すべての児童生徒が主体的に学び、思考し、創造する力を育む」ことを目標とし、ICTを活用することで、児童生徒は自分のペースで学習を進め、興味のある分野を深く探究することができる。  
また、グループワークやプレゼンテーションなど、協働的な学びの機会も増やし、コミュニケーション能力や問題解決能力を育成する。

2. GIGA第1期の総括

本市は令和2年度に3,499台の1人1台端末の整備及び大容量通信ネットワークを整備し、周辺機器等も含めたICT環境の整備が完了している。さらに、ネットワークについては、令和4年度にネットワークアセスメントを実施して不具合の原因を逐次明らかにし、ネットワーク環境改善に向けた対応を行ってきた。  
また、教員によるICT活用のための研修会の充実を図るとともに、端末・ネットワークトラブルへの対応や各種設定業務への対応できるよう、GIGAスクール運営支援センターを設置している。  
一方で、学校や教員によるタブレット端末等の活用頻度・内容には差があるため、教員のICT活用指導力のさらなる向上を目指し、積極的にICTの活用を図ることができるよう、これまでの研修等の取組を更に充実させる。

3. 1人1台端末の利活用方策

前項1「1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿」の実現のため、端末の整備・更新により、児童生徒向けの1人1台端末環境を引き続き維持していく。  
なお、整備・更新した端末は、以下のような利活用を行う。

項目	KPI	現状値⇒目標値	方策
1人1台端末の積極的活用	毎年度ICT研修を受講する教員の率	全国 : 73.0% (R4) ⇒ 100% (R6) 村上市 : 76.2% (R4) ⇒ 100% (R6)	研修のニーズの把握、広報活動の充実
	情報通信技術支援員 (ICT支援員) の配置	全国 : 5.7校/人 (R3) ⇒ 4校/人 (R7) 村上市 : 0校/人 (R3) ⇒ 4校/人 (R7)	ICT支援員配置拡充のための予算確保
	1人1台端末を週3回以上活用する学校の率	全国 : 小90.6% (R5) ⇒ 100% (R6) 中86.5% (R5) ⇒ 100% (R6) 村上市 : 小100% (R5) ⇒ 100% (R6) 中85.8% (R5) ⇒ 100% (R6)	端末活用事例の共有
	デジタル教科書を実践的に活用している学校	全国 : 40.5% (R4) ⇒ 100% (R10) 村上市 : 36.8% (R4) ⇒ 100% (R10)	デジタル教科書の活用事例の共有
個別最適・協働的な学びの充実	児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校	全国 : 小44.9% (R5) ⇒ 80% (R8) 中36.1% (R5) ⇒ 80% (R8) 村上市 : 小46.2% (R5) ⇒ 80% (R8) 中14.3% (R5) ⇒ 80% (R8)	各校の端末稼働状況のモニタリング、端末の活用状況を各校へフィードバック
	児童生徒が自分で調べる場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校	全国 : 小70.1% (R5) ⇒ 100% (R8) 中64.9% (R5) ⇒ 100% (R8) 村上市 : 小84.6% (R5) ⇒ 100% (R8) 中85.7% (R5) ⇒ 100% (R8)	
	教職員と児童生徒がやりとりする場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校	全国 : 小53.3% (R5) ⇒ 80% (R8) 中49.4% (R5) ⇒ 80% (R8) 村上市 : 小53.9% (R5) ⇒ 80% (R8) 中14.3% (R5) ⇒ 80% (R8)	
学びの保障	希望する不登校児童生徒へ端末を活用した授業への参加・視聴の機会を提供している学校	全国 : 今後把握 ⇒ 100% (R8) 村上市 : 今後把握 ⇒ 100% (R8)	第1期整備端末の有効活用及び第2期整備予備機の活用
	希望する児童生徒への端末を活用した教育相談を実施している学校	全国 : 今後把握 ⇒ 100% (R8) 村上市 : 今後把握 ⇒ 100% (R8)	
	障害のある児童生徒や病気療養児等、特別な支援を要する児童生徒の実態等に応じて端末を活用した支援を実施している学校	全国 : 今後把握 ⇒ 100% (R8) 村上市 : 今後把握 ⇒ 100% (R8)	